

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

【上級タンデム技能証検定】

使用機材詳細書(検定前提出)

フライヤー登録番号:JA _____ O _____

ふりがな

氏名: _____

体重: _____ kg

	メーカー名	モデル名	サイズ
ソロライダー			
ソロハーネス			
ソロレスキュー			$\frac{\sim}{\text{m}^2}$ Kg ()
タンデムライダー			$\frac{\text{Kg} \sim \text{Kg}}{\text{m}^2}$ ()
タンデムパイロットハーネス			
タンデムパッセンジャーハーネス			
タンデムレスキュー			$\frac{\sim}{\text{m}^2}$ Kg ()

※ レスキューパラシュートは製造社の指定するリパック期間内であり、リパックタグ(リパックした日付とリパック者名記載)が付いている物とします。

※ グライダーはシングルサーフェイス以外となります。

※ 機材の点検時に検定員が必要と認めた場合はポロジメーターで空気透過率を確認し、1か所でも60秒以下の場所があるPGは使用不可とします(ソロ機・タンデム機とも)。

※ ソロ用ハーネスをタンデムに使用する場合は次の条件を満たす必要があります。

(1) 必要なサイズのレスキューパラシュートを収納できること。

(2) パラシュートのブライダルコードがスプレッダーバーに適切に取り付けられていること。

(3) 空中でパッセンジャーと横並びになった状況でもレスキューパラシュートのグリップを引き出せること。

※ ソロフライト検定に使用する機材はEN-Bクラスを推奨します。必ずしもBクラスでなくてもよいのですが、開催エリア側が条件を付ける場合があります(例:TO~LDが遠くAクラス機では高度不足で検定の演技をこなせないで推奨しない、等)